

第2学年 外国語科学習指導案

単元名 自分の意見を述べよう
～ 視覚障がい者にとっての吉田町 ～

日時 平成30年11月22日(木)5校時

指導者 高田 純子

ALT Keiko Olivas

(1) 本単元の構想

「CAN-DO リスト」の形式による学習到達目標における位置付け

○身近な話題について、適切な声量や明瞭さで、事実や経験などをもとに自分の考えをまとまりよく話すことができる。



単元の目標

- ・ある条件で何をするかを述べるができる。【知識・技能】
- ・自分の考えとその理由を述べるができる。【知識・技能】
- ・どんなときに何をするかを述べるができる。【知識・技能】
- ・与えられたテーマについて、自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で話す。
【思考力・判断力・表現力等】
- ・主体的に英語を用いて自分の考えを述べている。【主体的に学習に取り組む態度】

【単元観】

本単元では主に登場人物である咲と光太が「ユニバーサルデザイン」をテーマとして自分の感想や考えを述べている。言語材料としては、接続詞 (if, that, when, because) を用いて複文で自分の考えを述べたり、その理由を述べたりする表現を扱っている。ユニバーサルデザインという題材は誰もが暮らしやすい社会の在り方や自分が暮らす町に目を向け、バリアフリーについても考えることができる題材である。本単元と並行して、福祉・人権学習でさまざまな活動を体験している本校の生徒にとって、興味関心の高まる題材でもある。また、自分の住む地域について深く考える機会となる単元でもある。



【生徒観】

〈個人情報保護のため省略〉



【指導観】

単元末に「視覚障がい者にとっての吉田町」というテーマで自分の考えを発表し、その様子をビデオに録画して定期的に文通で交流をしているアリゾナ州の中学生に送る活動を実施する。アリゾナの中学生は自分達の行動で何かを変えようと活動しているM.A.D.(Make a difference)クラブに所属しており、彼らにとっても興味のある活動となることが予想される。単元末のゴールを意識させて学習動機を高め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図りたい。また、「福祉・人権学習」で行う視覚障がい者のガイドヘルプやアイマスク体験などを通して、感じたことや自分の意見、主張や提案などを活動ごとに英語で書き留める。そしてそれらをもとにテーマについての文章全体の構成を考え発表原稿を作成させることで、発表内容を深めるとともに、文章構成に対する意識を高め、まとまりのある文章を構成し話す力を高めたい。

(2) 単元の評価規準

- ・ある条件で何をするかを述べるができる。【知識・技能】
- ・自分の考えとその理由を述べるができる。【知識・技能】
- ・どんなときに何をするかを述べるができる。【知識・技能】
- ・与えられたテーマについて、自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で話す。
【思考力・判断力・表現力等】
- ・主体的に英語を用いて自分の考えを述べている。【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 指導と評価の展開計画 (全10時間 本時8/10)

時	○ねらい ・主な学習活動	主な評価規準		
		ア 知・技	イ 思・判・表	ウ 主学態
1	○「我が家のユニバーサルデザイン」の現状を書く ・商品の広告を読んで、内容を理解する ・「身の回りのユニバーサルデザイン商品」を見つける ・「我が家のユニバーサルデザイン」の現状を書く	①ある条件で何をするかを述べることができる		主体的に英語を用いて、自分の考えを述べている
2	○「我が家はユニバーサルか？」について、考えを述べ合う ・本文を読んで、ユニバーサルデザインとは何かを考える ・「我が家はユニバーサルか？」について、考えを述べ合う	②自分の考えを述べるができる		
3 4	○「我が家ではどんな時に何が不便か」について自分の考えを書く ・「車いす体験」の感想文を読んで、内容と文構造について理解する (パラグラフの階層関係について考える) ・「我が家ではどんな時に何が不便か」について自分の考えを書く ・「我が家に必要なユニバーサルデザイン商品」を考えプレゼンをする	②自分の考えとその理由を述べることができる ③どんなときに何をするかを述べることができる		
5	○「我が家のユニバーサルデザイン」について、自分の考えを整理し、文章構成を意識して話す ・ユニバーサルデザインについて書かれた英文を読んで、話者の主張とその理由、文構造について理解する (パラグラフの階層関係について考える) ・「我が家のユニバーサルデザイン」について、自分の考えを整理し、文章構成を意識して話す		①自分の考えを整理し、文章構成を意識して話すことができる	
6 7	○人権・福祉学習で行った活動を通して、感じたことや自分の考えを書く (発問を中心に自分の考えをまとめる) 「福祉についてどう考えるか」 「吉田町は視覚障がい者にとって生活しやすい町か」 「ガイドヘルプ体験を通して何を感じたか」 「吉田には何が必要か」「吉田町はどうあるべきか」考える *ユニバーサルデザインとバリアフリーの考え方の違いについて考える	①ある条件で何をするかをのべることができる ②自分の考えとその理由を述べることができる ③どんなときに何をするかを述べることができる	②与えられたテーマについて、自分の体験をもとに考えを書くことができる	

⑧ 本時	○与えられたテーマについて、自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で原稿を書く ○主体的に英語を用いて自分の考えを述べる ・文章構成を考えて原稿を作成する ・原稿をもとに発表練習をする		③与えられたテーマについて、自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で原稿を書くことができる	
9	○与えられたテーマについて、自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で話す（発表会） ○主体的に英語を用いて自分の考えを述べる ・「視覚障がい者にとっての吉田町」というテーマで自分の考えを発表する			
後日	・与えられたテーマについて、自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で話す 【テーマ：吉田の高齢化について】 ・本単元で扱ったテーマとは異なるテーマで、自分の考えを教師の前で発表する 【総括的評価】パフォーマンステスト	①ある条件で何をするかを述べることができる ②自分の考えとその理由を述べることができる ③どんなときに何をするかを述べることができる	③与えられたテーマについて、自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で話すことができる	主体的に英語を用いて自分の考えを述べている

(4) 本時の展開

①ねらい

- ・「視覚障がい者にとっての吉田町」というテーマで、自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で原稿を書く。
- ・主体的に英語を用いて、自分の考えを述べる。

②展開

時間	生徒の学習活動	教師の活動と支援		評価
		JTE	ALT	
5	あいさつ	あいさつと簡単な会話をして学習の雰囲気を作る		
	めあてと流れの確認	生徒とのやり取りから、本時のめあてを取り上げて、本時の流れとともに提示する		
10	帯活動 (Let's Talk)	活発なやり取りができるよう、会話をつないだり質問したりして支援する		
		フィードバックを与える（ラッキーワード、フレーズ）		
		会話を継続させる表現などを取り上げ、相手意識を高める	会話で用いる単語などを取り上げ、語彙力を高める	

10	スピーチの構成を考える (英文カード) ↓ 文を組み立てる	多面的な発想でテーマについて考えるよう促し、構成面を中心に支援する	生徒が伝えたい内容を表現できるように英語表現面を中心に支援する	イ③(観察) 生徒A(女子)の状況を観察し、全体の活動状況を評価する
10	発表練習をする	個人練習後のペアを変えて練習する場面では、相互に協力し合いながらよりよいものにしていく過程を見取る		ウ(観察) 生徒B(男子)の状況を観察し、全体の活動状況を評価する
5	学級全体で意見を共有する	数名の発表を取り上げ、本時のねらいの達成について確認する		
	振り返りシートを記入する	振り返りを全体で共有し、今後の英語学習への意欲付けとする		

(5) 本時の評価

【思考力・判断力・表現力等】

十分に満足と判断される生徒の具体例	おおむね満足と判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
自分の体験をもとに考えたことなどを論理的に伝えるまとまりのある文章構成で原稿を書いている	自分の体験をもとに考えを整理し、まとまりのある文章構成で原稿を書いている	考えを整理できなかつたり、まとまりのある文章構成を考えて原稿を書くことができない生徒には、福祉学習で体験したことなどを想起させたり、文章構成のモデルを参考にするよう促して、個別支援を行う

【主体的に学習に取り組む態度】

十分に満足と判断される生徒の具体例	おおむね満足と判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
相手意識をもち、非言語で伝える工夫をするなど、相手に配慮しながら、主体的に英語を用いて、自分の考えを書いている	主体的に英語を用いて、自分の考えを書いている	自分の考えを書くことができない生徒には、英文カードをもとに生徒が伝えたい内容を引き出すなどの個別支援を行う

(7) 授業研究の視点

「福祉・人権学習」で行う視覚障がい者のガイドヘルプやアイマスク体験などを通して、感じたことや自分の意見、主張や提案などを活動ごとに英語で書き留めさせ、それらをもとに構想図を用いて発表原稿を作成させたことは、発表内容を深めるとともに、文章構成に対する意識を高め、まとまりのある文章を構成し話すことに効果的であったか。